

Giro d'Abruzzo

Stage 4 / Corropoli – Isola del Gran Sasso 166 km

ファンチェッルはスプリントで 8位、総合も8位で大会を終える



開催日：4月18日

コース：Stage 4 / Corropoli – Isola del Gran Sasso (166 km)

参加チーム：19チーム (2 WT, 5 PT, 11 CT)

出走選手数：132人

JCL TEAM UKYOメンバー：アレックス・ファンチェッル、小石祐馬、アンドレア・ダマート、鎌田晃輝、増田成幸、シモーネ・ラッカーニ、ナホム・ゼライ

JCL TEAM UKYO監督：マヌエーレ・ボアロ

レース公式サイト：<https://www.ilgirodabruzzo.it/>

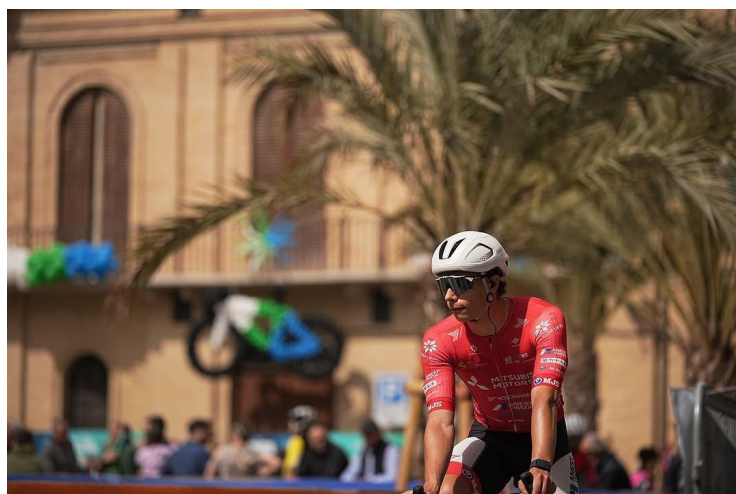
JCL TEAMUKYO公式サイト：<https://jcl-team-ukyo.jp/>



2025年ジロ・ダブルツツォの最終ステージは、コロポリからイーゾラ・デル・グラン・サッソまでの 166km。序盤は平坦基調で始まり、その後ベッランテの登りで最初の中間スプリントが行われました。ここではボーナスタイム(3秒/2秒/1秒)が与えられます。その後は、アップダウンが連続する厳しいコース。選手たちは一度ゴールラインを通過し、その後 58kmの丘陵周回コースに突入。この中には 2回登らなければならないスパラツァーノの KOM(山岳賞区間)も含まれていました。フィニッシュ前は緩やかな登りが続き、残り 1200mから数百メートルは9%の急勾配、その後はゴールまで 3%程度の登りが続くフィニッシュラインでした。

JCL TEAM UKYOの戦略は、ファンチェルとラッカーニの総合順位のキープ、チャンスがあればジャンプアップを目指すことでした。

最終ステージとあって、各選手が最後の勝負に挑みました。スタート直後から多くの選手が逃げに挑み、18km地点ではジョージ・ベネット(Israel Premier Tech Academy)、マシュー・キングストン(Mg.K Vis)、マッテオ・ズルロ(S.C. Padovani)、クリスティアン・スバリリ(Solution Tech)、ガブリエレ・ラッカーニ(Polti Visitmalta)、マルコ・マルティーニ(Technipes)の6名が先行。しかし、ベッランテの登りへ向かう過程でこの逃げは吸収されました。このスプリントでは、フィリッポ・フィオレリ(VF Group)が1位通過し、ポイント賞(チクラミーノジャージ)のリーダーとしてポイントを追加。ファンチェルは 4位通過。



45km地点でベネットが再びアタックし、ショエルト・バクス(Q36.5)、フェデリコ・グッツォ(S.C. Padovani)、アレックス・トネッリ(Polti)、ジョエル・スーター(Tudor)、イヴォ・オリヴェイラ(UAE)、マルティン・マルチェルージ(VF Group)の7名が再び先行する展開。

その後、アレクサンドル・バルメル(Solution Tech)が12kmの追走の末に合流。集団との差は 1分30秒程度で推移しました。登坂では逃げ集団がさらに差を広げ、グッツォが山岳賞ポイントを先頭通過。これによりグッツォが山岳賞ジャージを獲得しました。

この区間でJCL TEAM UKYOが追走に加わり、ダマート、鎌田、小石、ゼライが追走し、先頭との差を1分未満まで縮めました。

残り50km、差が30秒ほどまで縮まったタイミングでシモーネ・ラッカーニがアタック。単独で逃げを追走し、差を 17秒まで詰めましたが、1人で8人を追う不利な状況で諦めて集団を待つことに。

その後、パブロ・トーレス(UAE)がアタックするも、デ・ラ・クルス(Q36.5)とツィマーマン(Intermarché)、さらにフィオレリも反応。

マルコ・ブレンナーが遅れたため、Tudorがペースを上げて追走し、アタックは吸収されました。最後の KOMではグッツォ、バルメル、スーターが遅れ、バクスとオリヴェイラが抜け出して 2人で先行。後方ではVF Groupと Petrolikeがメイン集団を牽引し、逃げの残りメンバーを吸収。残り 8kmで逃げは30秒差にまで縮まりましたが、2人はペースを維持し続け、ラスト 1kmまで逃げ切りに成功。

オリヴェイラがスプリントを開始し、バクスを引き離して大会 2勝目を挙げました。

集団スプリントではファンチェルが 8位に入賞。総合成績に大きな変動はなく、ファンチェルは総合 8位、ラッカーニは13位でこのレースを終えました。



アレッサンドロ・ファンチェッリのコメント

「最終ステージは厳しい展開になることは分かっていました。実際、その通りになりました。前半では逃げに乗ることができませんでしたが、チームメイトの懸命な牽引とラッカーニのアタックにより、逃げとのタイム差を大きく広げずに済みました。全体として自分の走りには満足しています。毎ステージでトップ 10に入り、まずまずの内容だったと思います。ロッカラッソの登りでは集団内での位置取りが悪くて時間を失ったのが悔やまれますが、被害は最小限に抑えられました。」

鎌田晃輝のコメント

「今回のアブルッツォ遠征は、正直自分にとっては非常に苦しいものでした。ほとんどのステージで体調が良くなかったのですが、それでもこのイタリアでの経験は自分を成長させると 생각합니다。これを糧に、より強い選手になりたいです。」



STAGE 4 GIRO D'ABRUZZO RANKING:

1. Ivo Oliveira (UAE Team Emirates XRG) in 3h58'49"
2. Sjoerd Bax (Q36.5 Pro Cycling Team) s.t.
3. Giovanni Bortoluzzi (General Store – Essegibi – F.lli Curia) +12"
8. Alessandro Fancellu (JCL Team Ukyo) s.t.

GIRO D'ABRUZZO FINAL GC:

1. Georg Zimmermann (Intermarché-Wanty) in 15h06'08"
2. David De La Cruz (Q36.5 Pro Cycling Team) +11"
3. Pablo Torres (UAE Team Emirates XRG) +18"
4. Alessandro Fancellu (JCL Team Ukyo) +1'07"
13. Simone Raccani (JCL Team Ukyo) +1'37"

JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ: KATAYAMA PLANNING株式会社
田村 遼 (広報) Mail: tamura@kplanning.co.jp TEL: 090-44551-4021
増田 深雪 (広報) Mail: m-masuda@k-planning.co.jp

